

つくし通信

2023年 3月号

この統一自治体選挙後の秋には 様々な増税と社会保障の負担増 自治体段階で、出来る歯止めもあります！

今までになく厳しい山田厚の選挙状態です

●あの寒かった時からようやく春になりました。皆さんお元気でしょうか。足が弱かった方も、引きこもっていた方も、いよいよ暖かくなりますから「家に閉じこもらない」で心身を少しずつ慣らしてください。

山田厚も友人で**新人候補の依田勝見さん**（伊勢地区在住）共に、今春の統一自治体選挙を大切に考え動き始めています。しかし、選挙情勢は厳しくなっています。

●4月の甲府市議選は、いままでにかつてない大激戦・大混戦です。32名の議員定数中に、なんと**新人候補が19名**で、46名が立候補しますから、**14名が落選**です。

しかも長引くコロナ災害による人間関係が希薄になり、政権党の金権腐敗で政治不信から、棄権傾向と「新しい人へ」の気分がさらに強まっています。こうなると「新しくない」山田もかなり厳しいと想定できます。

今までにない、廃業・倒産・失業-自己破産の事態が

●いや！ もっと厳しいのは普通の市民生活です。というのは、統一自治体選挙の結果を政権側も考え、いままでになく、その結果を重要視しているからです。それはこの夏と秋から、物価高騰に加え庶民増税や社会保障の**負担増の具体的方針**が出され、2024年から**負担増が実施**されることが確実に予想されるからです。

●さらにまた、物価高騰とインボイス制度（零細経営などのへの消費税増税）やコロナ融資の返済期となり、多くの**廃業・倒産・自己破産・失業**が迫っています。

また、大企業側は、労働運動の連合中央（よしの友子会長）の政権迎合状態もみて、なんでも抵抗なくデジタル化と「まなび直し」を口実に「労働移動」という一ここでも**失業の常態化**をはかっています。

●わたしのよう「新しくない人」も、また「新しい人」も考えてください。

今の食料品などのかってない物価高騰はこの10年間と比べて、特にこの1年間で、30%も値上がりです。しかも大企業＝多国籍企業は「円安」で今までにない最高利益を上げています。

そのなかで岸田政権は「まずは賃上げを！」「異次元の少子化対策！」とかを掲げています。また、労働組合中央も大企業も「かってない賃上げで要求5%」さらに「うちの企業は7%だ！」と掲げてきます。しかし要求の段階でこのレベルでいいのでしょうか？ 今の物価高騰期の前の総評労働運動の1970年代初頭期の物価値上げ期（「石油危機」）の平均賃上げ率の結果は、次の通りでした。

1970年	賃上げ18.5%
1971年	賃上げ16.9%
1972年	賃上げ15.3%
1973年	賃上げ20.1%
1974年	賃上げ32.9%

1970年代前半期を知っている「新しくない人」は、「あの時はいきなり春闘で2万円も上がった」「年度末の差額がボーナスより多かった」ということも記憶されていると思います。

それと比べて、現在では税金や保険料の引き上げもあり「5%」程度の賃上げでは実質賃金や年金は下がるばかりです。だから岸田政権や経団連も安心して「賃上げ」というのです。

●それでも、中小零細経営や非正規雇用では「5%」も危ういし、正規雇用もどうなるか分かりません。押しなべて「労働時間と関係ない働き方」という実質の長時間労働や増税や社会保険の負担増が押し寄せる可能性が強くなるからです。

●つまり、統一自治体選挙の結果をみて、政権は、負担を求めるにしても、その具体的な負担の幅や種類の多様化を考えます。それに夏の総選挙も考えられます。さらに激しい大企業優先と軍備拡大予算の追加なども考えるでしょう。身近な自治体選挙ですが、それだけに政権の方針にとっても今期は重要な選挙となっています。

身近な選挙であり、負けられない選挙です

●自治体の基本は自立した「住民福祉の増進」です。選挙の結果だけでなく、議員になってからが「住民福祉の増進」にむけて取り組むことが重要です。自治体では「納税者の権利」として運用に自主的な幅があります。また自治体には負担についての「減額免除制度」もあります。国政の動きを制限することもあります。山田厚は、そのために奮闘するつもりです。だからこそ、この選挙では、負けられません。実生活と平和な暮らしを求めて頑張ります。

①市民生活を圧迫する甲府市の高い税金を戻す

②そして税金のムダ使いにブレーキをかけます

③国の政権政策にあわせるだけの自治体ではなく

④教育や社会保障を基本した＝平和な暮らしを求め続ける

これは、**私の大きな4つの争点**です。

①同封のチラシにも入れましたが、甲府市の法人市民税と都市計画税の**税は通常より重い**負担です。つまり、市民はそれだけ余分に税金を納めているのです。これは是正させるべきです。

②税金のムダと思われる使い方の是正です。甲府市は職員の人件費をとにかく削り民間委託ですが、**特定業者や大企業系に甘い**ところがあります。たとえば有価物の業者優遇です。また岡島デパートの跡地ですが膨大な税金が建築業者に出す計画があります。

③かつての「平成の大合併」もそうですが、**国の政権の方針に乗っかり**先取りするような自治体の在り方では、大きく間違いを犯します。「リニアは千載一遇のチャンス」から「デジタル社会への先駆け」、そして「県内の連携中枢都市圏」などなど、自治体は国策方針のメリットばかりの強調ではなく、はじまっているリスク・弊害こそをみる必要があります。

④「子育て最優先」とされていますが継続的な制度は弱く、放課後児童クラブや不登校対策も充分ではありません。また高齢者福祉「課」はなくされ、「係」に落とされています。子育てや生活苦などを少しでも改善し、「**平和な暮らし**」を**求める**努力を目指し続けます。

やはり、国政だけでなく、身近な選挙こそ政策優先でなければなりません

●ぜひ。政策に向けての主張は「**山田厚のホームページ(「私の主張」)**」をご覧ください。

山田厚と検索すればすぐに出てきます。

●さらに、山田厚の政策を知りたい方は、この3年間のリーフやパンフを見てください。特に、この3月まで作成した**3つのブックレット**をご覧ください。

●また、共に**学習交流会に参加**されてください。次ページに日時・会場を記載しています。

3月16日 「少子人口問題の本当の原因は何か（人口問題）」会場20名規模

3月24日 「高齢者からの負担が求められている（高齢者問題）」会場20名規模

4月 2日 「高い国と甲府市の税金を考える（税を考える）」会場55名規模

山田厚の主な日程です。ぜひ、お誘い合わせてご参加ください。

3月

16日(木)	18時～	少子人口問題学習会①	県立図書館 交流ルーム 101
21日(火・祝)	10時～	総決起集会	県立図書館 イベントスペース
24日(金)	18時～	高齢者問題学習会②	県立図書館 交流ルーム 101

4月

2日(日)	13時半～	税を考える交流会	県立図書館 多目的ホール
16日(日)	9時～	出発式	八幡神社境内
19日(水)	18時半～	個人演説会女性の集い	北東市民センター 会議室 3号
23日(日)		投票日	

2023年度の「山田厚とつくしの会」会員を募集します

同封別紙のチラシのように2023年度の「山田厚とつくしの会」の年度会員を募集しています。「会費は一口500円」です。これは法的に確認された合法の後援会活動です。

- ・同封の「振込取扱票」に記入していただき**郵便局**に出していただくか、
- ・またはご面倒な場合には、お名前を書いて**事務所まで**お持ちいただくか、
- ・さらには、**電話(253-6790)やFax(254-4403)**でご連絡いただければ、こちらでお伺いします。

皆さんの悩みごとお聞かせ下さい、一緒に歩みます

●今の市民生活では、相談事や悩みごとが一杯です。特に物価高騰期や公的負担増では、苦しいことが一杯です。

●遠慮しないでお聞かせください。お手伝いできることもあると思います。なかでも、保険料や滞納してしまった場合の対応や、生活保護申請を求められる方には、市役所窓口では山田もご一緒しています。行政へのつなぎ役も山田の責務だからです。